

式 辞

暖かい日差しが降り注ぎ、夢咲坂の木々の新緑が鮮やかに映える今日の佳き日に、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席のもと、このように盛大に平成31年度入学式を挙げてまいりましたことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、ご臨席を賜りました皆様に心から感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可された90名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生並びに職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。皆さんは高校入試という恐らく人生で最初の大きな試練を乗り越え、本日晴れて北山高校の生徒として認められました。今日の感激とご家族や先生方など多くの方々を支えられてきたことへの感謝を忘れず、有意義な高校生活を送って欲しいと思います。また、保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。真新しい制服に身を包んだ我が子の姿に感慨もひとしおだと思います。

本校は、地域社会の教育に寄せる情熱と希望を担い、昭和23年に創立され、高い志、高い品位、自由の翼の羽ばたき、師弟協同で作りに上げた学校で、「自主自律・友愛協同」の校訓のもと、文武両道において輝かしい実績を残し、今年で創立71年目を迎えます。校章には、1期生の立案で誕生した、勇ましく青空に羽ばたこうとする「若鷲」がイメージされており、在校生は、「一生懸命がかっこいい」を合言葉に、学業やスポーツ、文化の各分野において、校章にある若鷲の如く意欲溢れる活動を展開しています。新入生の皆さんも、この伝統を受け継ぎ、さらに磨きをかけ、伝説の74期生と呼ばれるように、仲間と共に切磋琢磨しながら、夢実現、進路実現へと邁進してください。

新入生の皆さん、皆さんが高校生活をスタートするにあたり、校長として次のことを要望します。まず一つ目は、「素直な心で人に感謝する気持ちを持ち続ける」ということです。皆さんが今日の日を迎えることができたのは、皆さんの努力はもちろんですが、ご両親をはじめ、これまで関わった先生方、親戚や地域の方々の温かい励ましによるものです。皆さんは、これからも多くの方々にお世話になりますし、多くの新たな出会いがあります。人との関わりの中で、他人の痛みを知り、相手の立場になって物事を考え、素直な心で感謝の気持ちを持ち続けることが、皆さんをより大きく成長させます。これからの三年間、スポンジが水を吸うがごとく素直な心で、周りの方々から多くのことを吸収し、大きく飛躍することを期待します。

二つ目は、「Think globally, act locally、地球規模で考え、足元から行動する」ということです。これからの社会は、急速なグローバル化が進み、多様な価値観を持つ諸外国の人々との競争のみならず共生することが必須となり、皆さんはそのような時代を生き抜いていくことが求められます。沖縄でも多くの外国人観光客の姿をよく見かける事からも分かるように、日常的に外国の人々と関わる機会が今後飛躍的に増えていきます。本校では、米国ジョージア州ミルトン高校と姉妹校提携を結び、毎年生徒代表数名を米国へ派遣しています。また、県が主管する海外留学や国際交流プログラムも数多く提供されています。10代の多感な時期に海外に飛び立ち、多様な価値観に触れる経験は皆さんにとって大きな財産になります。常にアンテナを高く張り自分からそのチャンスをつかみ取り、その経験を地元今帰仁のみならず沖縄全体の発展に尽くせる人材になって欲しいと思います。

結びになりますが、高校時代は責任ある大人として自立していく大事な時期です。学校と家庭が連携を図り、一体となって取り組むことが重要であると考えます。私たち教職員は、生徒一人一人の成長と自立に向け全力を尽くして参ります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、いよいよ高校時代の幕が上がります。北山高校という素晴らしいこの舞台上、豊かで充実した高校生活を送ることができるよう心から祈念し、式辞といたします。

平成31年4月8日

沖縄県立北山高等学校
校長 宮城 保